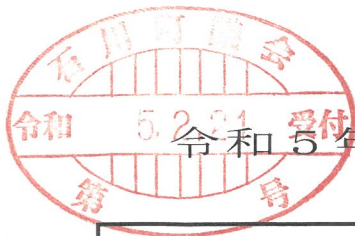


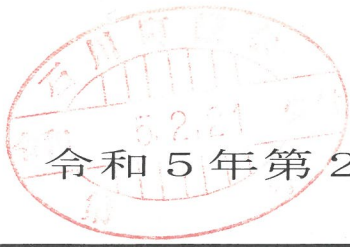
一般質問通告一覧表
(令和5年3月定例会)

通告番号	氏名
通告1番	菊池美知男
通告2番	渡辺 実
通告3番	小木 芳郎
通告4番	増子美知夫
通告5番	関根 信次
通告6番	乾 初美
通告7番	根本 重泰
通告8番	瀬谷 寿一
通告9番	瀬谷 京子



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番	令和5年2月21日 午前11時23分 受付	
<p>次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。</p> <p>令和5年2月21日</p> <p>質問者 3 番議員 菊池 美知男</p> <p>石川町議会議長 草野 伝明 殿</p>		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 石川町第6次総合計画について	<p>本町の最上位として位置付けられている本計画の、着実な施策の推進を図るための進行管理や検証について伺う。</p> <p>(1) 平成31年度(2019)に策定してから4年が経過しているが、これまでの取り組みに対する評価について</p> <p>(2) 実施計画3年間のローリング方式による見直し状況について</p>	町長 企画商工課長
2. まちなか再生行動計画について	<p>令和3年12月議会定例会において、本計画について一般質問をした際、現計画の変更や見直しが必要であると考えているとの答弁だったが、その後の検討過程や見直し状況について伺う。</p> <p>(1) 見直しに向けた、検討経過や見直し状況について</p> <p>(2) 第6次総合計画との整合性について</p>	町長 企画商工課長
3. 令和5年度当初予算と事業について	<p>町の将来像である「共に創る幸せ実現の町」を実現するため、当初予算編成にあたって配慮した点や、新たな方針等について伺う。</p> <p>(1) 行政運営及び予算執行の更なる効率化の推進と、財源確保について</p> <p>(2) 歴史民俗資料館、認定こども園、道の駅等の大型事業を控えた中で将来の財政計画をどのように見据え、また健全財政を維持するための予算編成の配慮について</p> <p>(3) 町民ニーズを反映した特色ある事業について</p>	町長 総務課長



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番	令和5年2月21日 午前10時50分 受付	
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。		
令和5年2月21日		
質問者 9 番議員 渡辺 実		
石川町議会議長 草野 伝明 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 道路整備計画の策定について	<p>本町は、それぞれの部門で長期計画が策定され、計画的に施策が進められているが、道路整備に関しては計画が策定されておらず、町民に整備の方針が明らかにされていない。整備施策は毎年度予算の中で示されるという状況にある。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 道路整備計画の策定について</p> <p>(2) あぶくま高原道路の母畑インターを利用した道路整備について</p> <p>(3) 県道いわき石川線及び県道白河石川線整備促進に向けた考えについて</p> <p>(4) 農林道の整備について</p>	町長 都市建設課長 農政課長
2. 自治センターの今後のあり方及び社会教育の推進、公民館の充実について	<p>本町は、人口減少、少子高齢化、商業及び農業の衰退の中で、振興諸施策を行っている。町づくりの柱の一つは人づくりであり、人材育成が重要であると考えている。</p> <p>新型コロナ禍で、地域や町民の絆が切れたり、薄らいできている。ここを再度、つないでいく取り組みや人づくりが必要であると考えている。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 自治センターの課題と今後のあり方について</p> <p>(2) 社会教育の推進、公民館の充実に向けた取り組みについて</p> <p>(3) 新型コロナ後における自治センター、社会教育・公民館の役割について</p>	町長 教育長 企画商工課長 生涯学習課長

<p>3. こども家庭庁の創設に伴う町の体制整備について</p>	<p>4月1日、国はこども基本法を施行し、こども家庭庁を創設する。これに伴い、町も体制の整備や施策の実施が求められている。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) こども家庭庁創設に伴う町の組織整備について</p> <p>(2) こども基本法による町の役割と任務について</p> <p>(3) 子どものいじめや虐待の状況、ヤングケアラーの状況について</p>	<p>町長 教育長 総務課長 保健福祉課長 教育課長</p>
----------------------------------	--	--



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番

令和5年2月21日 午前10時25分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和5年2月21日

質問者 6 番議員 小木 芳郎

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 農業・畜産振興について	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により地域の観光業を始め、外食産業は低迷し経営がひっ迫している。また、ロシアのウクライナ侵攻等による世界経済の不安定な状況は今も続いており、円安等の影響により肥料価格や飼料価格更には、燃料や資材に至るまで高騰が続いている。これらを海外からの輸入に頼っているわが国農業は、極めて厳しい状況である。</p> <p>そこで、農業経営者及び畜産経営者が経営意欲を失う事無く経営に取り組めるための施策を伺う。</p> <p>(1) 自給飼料等の作付け実績と今後の進め方について</p> <p>(2) 堆肥生産による地域循環型（耕畜連携）農業（堆肥マップ等）の実績と今後の進め方について</p> <p>(3) 燃料費高騰に対する本町の施策について</p> <p>(4) 稲ホールクroppサイレージ（WCS）専用品種の作付け状況と今後の進め方について</p>	町長 農政課長



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番

令和5年2月21日 午前11時59分 受付

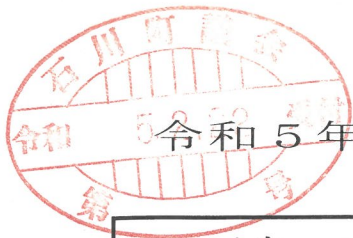
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和5年2月21日

質問者 7 番議員 増子美知夫

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 進行する少子化に対する取り組みについて	<p>進行する少子化問題に対し、本町ではさまざまな対策に取り組んでいるが、歯止めがかからない状況にある。</p> <p>進行している少子化の悪影響は、次世代・行政区・自営業者など多面的に渡ることが予測される。</p> <p>そこで、本町を衰退させないための、少子化対策の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 急激に進行している出生数減少に対する取り組みについて</p> <p>(2) 慢性化している婚姻数減少に対する取り組みについて</p>	町長 保健福祉課長 企画商工課長
2. 事業効果を踏まえた出生、婚姻、子育て支援に係る施策について	<p>少子化対策事業等の政策立案は、それぞれの担当課が行っているようだが、出生数・婚姻数には回復の兆しが見えず、慢性的な減少が続いているのが実情である。</p> <p>少子化対策事業には相当の事業費を投入していると思うが、なぜ、事業効果を引き出せていないのか。その複数要因を深堀りしたく伺う。</p> <p>(1) 出会い、結婚、妊娠、出産、子育て、教育など、本町の少子化対策事業に係る事業費及び一般財源と、その伸び率の推移について</p> <p>(2) 婚姻を促進するための課題の把握と、事業効果を踏まえた今後の取り組みについて</p> <p>(3) 出生数を増やすための課題の把握と、事業効果を踏まえた今後の取り組みについて</p>	町長 企画商工課長



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和5年2月22日 午前8時40分 受付

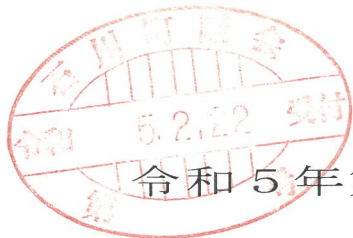
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和5年2月22日

質問者 11 番議員 関根 信次

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 令和5年度の町政運営について	<p>令和5年度は、第6次総合計画がスタートして5年目を迎えるが、まちの将来像「共に創る 幸せ実現のまち」の実現に向け、6つの基本目標に沿って、先見性とスピード感を持って各種施策を推進する必要があるが、これまでの取り組み等を踏まえ、町政運営において何を課題と捉え、令和5年度はどのような取り組みを進めるのか。</p> <p>また、本町においては、人口減少対策はもちろんのこと、脱炭素社会の構築や行政のデジタル化など、新たに取り組まなければならない課題が山積しており、効率的な行財政運営に努め、真に必要な施策に財源を集中する必要があると考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) まちなか再生の推進について(2) まちなか再生や地域社会の活性化を図るうえでの自治センターの役割について(3) 子育て支援の充実について(4) 高齢者福祉の充実について(5) 商工業の振興について(6) 中山間地域総合整備事業における農道の整備について(7) 効率的な行財政運営について	町長 教育長 関係課長



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番

令和5年2月22日 午前9時17分 受付

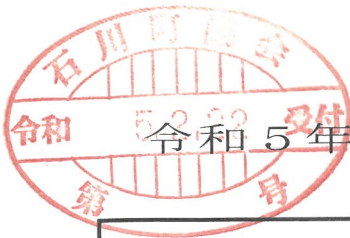
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和5年2月22日

質問者 1 番議員 乾 初美

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 公共施設マネジメントと広域連携について	<p>少子高齢化と人口減少が進む中、公共施設の老朽化への対応や施設サービスの提供方法の見直しが必要な時期にきている。公共施設については、本町においても平成29年に、「石川町公共施設等総合管理計画」が示されているが、今後どのように町民のニーズに対応していくのか。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本町公共施設の更新費用の将来的な負担予測について</p> <p>(2) 「石川町公共施設等総合管理計画」策定から間もなく6年経つが、見直しと今後の課題について</p> <p>(3) 公共施設利用における広域連携の必要性和取り組みについて</p>	町長 企画商工課長 関係課長
2. 救急医療体制の充実について	<p>町民の生命を守ることは町の責務であり、医療体制の整備は最も重要な役割といえる。しかしながら、本町は救急医療体制や医師の確保など様々な課題を抱えている。救急医療体制の構築と充実に向け、県へのさらなる働きかけが必要である。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 救急医療体制の充実に向けた町の考え方と取り組みについて</p>	町長 保健福祉課長 関係課長



令和 5 年第 2 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番

令和 5 年 2 月 22 日 午前 9 時 44 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告を
します。

令和 5 年 2 月 22 日

質問者 4 番議員 根本 重泰

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 令和 5 年度事業について	<p>本定例会に先立ち、令和 5 年度石川町全 258 事業の説明があった。</p> <p>少子高齢化、止まらぬ人口減少の中で、町がとる施策の実行力と効果が問われている。目的と手法・効果を説明し、町民と共に同じ未来を描き、努力することが必要だと考える。目指す効果を明確にした説明を求める。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 重点施策について(2) 町の住宅施策について(3) 町が掲げる「こども子育て応援宣言の町」 これまでの成果と5年度事業について(4) 町内の雇用創出の取り組みについて(5) 官民連携・指定管理の事業について	町長 教育長 所管課長



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 8 番

令和5年2月22日 午前10時17分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和5年2月22日

質問者 5 番議員 瀬谷 寿一

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 水郡線存続のための取り組みについて	人口減少や新型コロナウイルスの影響で経営的な厳しさが増す中で鉄道存廃の協議が始まったが、水郡線存続のための協議の経緯を伺う。 (1) 水郡線活性化協議会での取り組みについて (2) 石川町としての独自の取り組みについて	町 長 企画商工課長
2. 本町旅館の宿泊能力を最大限活かすために合宿商品の開発の取り組みについて	本町の旅館業も東日本大震災、コロナ感染拡大等による影響は大変大きい。新分野の商品開発が必要と思われる。そこで、次の点について伺う。 (1) 合宿型の宿泊商品（通年型）の開発進めるための町の支援について	町 長 企画商工課長
3. 本町の畜産、酪農業の振興について	コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、円安などから畜産、酪農業の実態は大変厳しい。事業持続のために町としての継続的な支援が必要と考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 畜産・酪農飼料の国内自給のため、飼料専用種栽培の推進について (2) 肥育牛、乳牛、繁殖牛の糞尿の堆肥化の取り組みについて (3) 乳製品や肉製品の消費拡大を図るため、道の駅で加工品などの商品開発について	町 長 農政課長
4. 森林環境譲与税の活用事業について	現在、森林再生事業や広葉樹再生事業も取り組まれているが、民間の森林管理は厳しい状況である。災害の減災にも繋がる間伐、広葉樹の適齢伐採を進めることが急務と考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 民有林の管理に路網整備事業が有効である。森林環境譲与税を活用した路網整備の推進について (2) 民有林の間伐、広葉樹伐採の推進を図るための、町の積極的支援について	町 長 農政課長



令和5年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 9 番		令和5年2月22日 午前11時22分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和5年2月22日 質問者 10 番議員 瀬谷 京子 石川町議会議長 草野 伝明 殿		
件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 定住促進を図る住宅政策について	令和5年度の重点施策を人口減少対策として、若者定住のための子育て支援と、住宅政策としている。子育て支援については、新年度児童生徒の給食費免除など年々充実してきている。 そこで、若者の定住促進を図るための住宅政策について伺う。 (1) 若者の定住促進のための令和5年度以降の具体的な施策について	町長 都市建設課長
2. 移住定住について	近年、若い世代の地方への移住者が増加している。令和3年度に、県内に移住した世帯は1532世帯で平成18年度以降最多を更新した。 過半数が首都圏からで、40代以下が約7割を占めている。20代以下が485世帯で最多である。 国でも、令和5年度から、東京集中是正へ地方移住を促す支援金を拡充し家族移住に最大300万円の基礎部分のほか18歳未満の子ども1人当たり、最大100万円を加算する。 県も、移住定住促進を図るとしている。 人口減少対策として有効な施策と思う。 そこで次の点について伺う。 (1) 移住受け入れの考えについて (2) 現状と今後の取組みについて (3) 課題について	町長 企画商工課長

<p>3. 防災・防犯対策について</p>	<p>近年、想定外の災害が各地で多発している。住民の防災意識の高揚が大事である。</p> <p>令和4年度以降、防災訓練の他、地域における水防訓練、避難訓練、避難所設置訓練など個別訓練を実施することであった。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 地域毎の避難訓練の実施と実行計画の作成について</p> <p>(2) 火災発生時のサイレンの吹鳴について</p> <p>(3) 通学路における防犯灯の設置状況、まちなかへの防犯カメラ設置の考えについて</p>	<p>町長 防災環境課長</p>
<p>4. 町民の健康増進について</p>	<p>高齢化が急速に進み、介護にならないための施策もされている。健康増進のための自己管理は老若を問わず大事である。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 健康教室の現状について</p> <p>(2) 運動機器の充実とインストラクターの配置について</p>	<p>町長 保健福祉課長</p>